

# サッポロビール社の新入社員研修開催

【物流ニッポン】2020年7月31日付11面に掲載されました

物流ニッポン LOGI

## 荷主の新入社員研修

### 密接な連携体制構築

#### サッポロG物流近畿圏支社

【大阪】サッポログループ物流（西間木健二社長、東京都渋谷区）の近畿圏支社（中川智介支社長、大阪市西淀川区）は15日、荷主のサッポロビールの新入社員を対象とした研修会を開き、物流業界の現状を伝えるとともに密接な連携体制の構築を図った。

荷主との関係構築について、中川支社長は「人手不足を解決するための手段は『募集によるドライバーの増員』と『物流効率化』の二つ。前者は我々の役目だが、後者は荷主の理解が無くしては成し得ない。特に今

年は新型コロナウイルスの影響で荷動きが不安定な



め、これまで以上に連携を強化する必要がある」と話した。

サッポロビールの新入社員に対する実習形式での物流研修会は2019年からスタート。2年目の今回は従来の座学や庫内見学に加え、新たに贈答用商品の箱詰め作業体験を盛り込んだ。

大型車へのフォークリフトを使用した荷積贈答用商品の詰め込み作業を体験

み、入出庫の仕組み、商品事故防止のための工夫などを庫内を回って確認した後、梱包用ケースの組み立て、商品の詰め合わせ作業といった物流加工の流れを体験。品数の多さと指導員役の現場スタッフの手際の良さに驚きながら、一つ一つ丁寧に仕上げた。

研修を終えた社員に対し、サッポロビールの間瀬秀樹近畿流通本部長は「皆さんが行う時間外発注一つで、物流現場には大きな負担が掛かる。皆さんにとって直接見る機会の少ないセクシオンだが、今日学んだことを絶対に忘れないで欲しい」と呼び掛けた。

（蓮尾輝）